


事例3【知的障害の方】

	氏名・年齢	Cさん・40代	利用した期間	1年6か月
	障害	知的障害 (療育手帳 ㊸)	障害特性	複数の工程の理解に 時間がかかる
	利用までの 経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校高等部を卒業後、約10年間スーパーで働いていたが、仕事を辞めてから約16年間外部就労せず、母親が亡くなってからは、主に家事を行っていた。 ・就労継続支援B型事業所に半年ほど通ったが、生活を維持していくために一般就労を目指そうと思い、障害者就業・生活支援センターに相談した。就労移行支援事業所を見学し、サービスを受けることとなった。 		

事業所ではどのような訓練や取り組みをしましたか？

毎日製麺作業を行いました。うどん製造は工程が多く、感覚の作業もあったので、難しいことも多かったですが、得意なことや苦手なことを知ることができました。また、一人ではできない作業が多いので、他の人と協力する大切さや仕事への責任感などが学べました。私は、コミュニケーションは得意な方ですが、仕事の複数の工程を覚えるのが苦手でした。ブランクや年齢も考慮し、①体力・集中力の向上②体調管理③メモ取り・質問のしかたの習得などを中心に訓練や勉強をしました。

今の職場が決まるまでのことを教えてください

就職面接会に参加し、今の職場のブースに応募しました。面接官の方に丁寧に説明していただき、この職場に就職したいと感じました。二次面接と打ち合わせ後、職場実習を受けさせていただきました。担当者の方や店長さんをはじめ、現場の方たちに親切に対応していただき、無事に職場実習をこなすことができました。その後、採用していただくことになりました。久しぶりの一般就労で、不安もありましたが、以前より相談できる人の存在や職場に理解してくれる人がいるので、心強いです。

今の状況を教えてください

大手回転寿司チェーンのお店で働いています。任されている主な仕事は、厨房内での炊飯や酢飯作り、皿洗いです。家での炊飯とは比べ物にならないご飯の量を毎日炊いています。コロナで大変な状況ですが、毎日がんばって働いています。この職場で長く働きたいと思っています。もう若くないので、体調を崩さないように気をつけたいです。就職もそうですが、就労移行支援利用中に申請した障害基礎年金もいただけるようになり、生活が楽になりました。今は一人暮らしを目標にしています。

これからお仕事をめざす方に一言お願いします

長らく働いていなかったブランクがあり、就職を目指すことに不安を感じていましたが、今は一歩前に入る勇気を出して取り組んで良かったと思います。就職のことや生活での困りごとなどいろいろと相談できるようになり、前向きにがんばることができました。就職も大事ですが、まずは相談できる人、背中をポンと押してくれる人、仲の良い友達を作ってください。